

熟年俳句誌

2 2014年
月 号

かたね
ふ



黒羽集

(二十六)

佐藤喜仙

終の息白きを妻の腕の中

君が来しコロコロの頃帰り花

十余年家族としての小六月

逝きてなほ耳りと立つ冬の朝

野を駆けて今天を駆け神の旅



秋光の及ぶかぎりの山日和

立ち話の間を抜くる空つ風

道場に子供のきあひ秋深し

一枚の枯葉の揺るる空の奥

点滴に時をつひやす小六月

ふところに詩書こしに酒紅葉狩

掃くといふ事の楽しや山茶花咲く

かさね俳句会

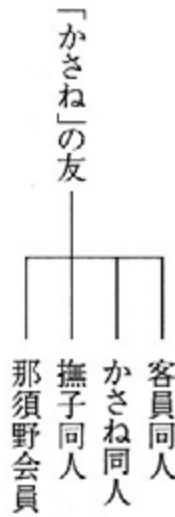
I 事業

- 月刊俳誌「かさね」の発行
- 月例本部句会の実施
(毎月第二金曜日)
- 月例本部吟行の実施
(毎月第四火曜日)

II 決算期間

一月より十二月までとする。

III 「かさね」の構成



IV 会費

客員同人を除く「同人」並びに「会員」の年会費は二万二千円とし、前納を原則とする。同人会費として別途徴収することはない。

V 入会資格

男性 定年あるいは六十歳以降から俳句を始めた方
女性 キヤリア・年齢問わず

VI 運営方針

- 吟行・句会を中心とした運営
- 同人は他の同人並びに会員を取りまとめ句会を開催することができる。
- 当会では全体集会・記念行事等は行わない。

VII 「かさね」の発行

- 原稿締め切り 毎月十五日
- 発行日 原稿締め切りの翌々月の二日
- 投句数と掲載数

- かさね同人(自選)六句提出、六句掲載
- 撫子同人五句提出、五句掲載
- 那須野会員五句提出、三〜五句掲載

VIII 賞と授与

- 本会の賞は「撫子賞」二名、「那須野賞」若干名とし、毎年二月号で発表する。
- 賞は二月度本部句会において授与する。

IX 昇格

毎年一月号において発表する。

X 役員

当会運営に携わる役員については別途「かさね」誌上で発表する。

以上